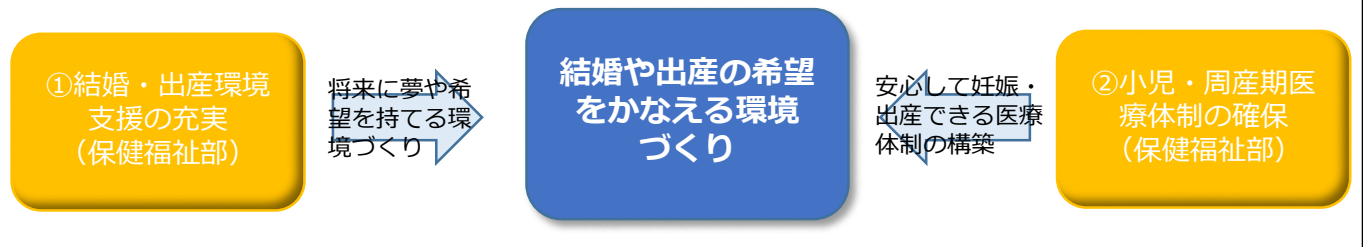


1 分野：生活・安心

(1) 政策の柱：安心して子どもを生み育てることができる環境づくりの推進

A 政策の方向性：結婚や出産の希望をかなえる環境づくり

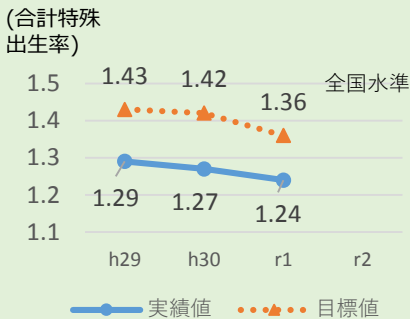
【政策の方向性と施策の関係】



施策名	課題等	主な取組 《》内はコロナの影響	総合評価
①結婚・出産環境支援の充実(※)	<ul style="list-style-type: none"> 未婚率、平均初婚年齢ともに上昇する傾向 不妊治療を受ける方が増加しているが、治療には大きな負担 本道の地域特性を踏まえた独自の取組等を検討することが必要 	<ul style="list-style-type: none"> ○婚活情報総合ポータルサイトによる情報発信 ○若年者に対する意識啓発の取組充実 ○特定不妊治療及び不育症治療への経済的支援 《セミナー、フォーラムの延期等》 	効果的な取組を検討し引き続き推進
②小児・周産期医療体制の確保(※)	<ul style="list-style-type: none"> 身近な地域における安全で安心な妊娠・出産が困難 助産師が都市部に集中しているなど、地域偏在が顕著 	<ul style="list-style-type: none"> ○周産期・小児医療検討委員会を開催 ○周産期母子医療センター等の産科医療機関に対し運営費等を助成 ○助産師出向支援事業を推進 《出向支援事業に遅れ》 	効果的な取組を検討し引き続き推進

【総合計画の指標】

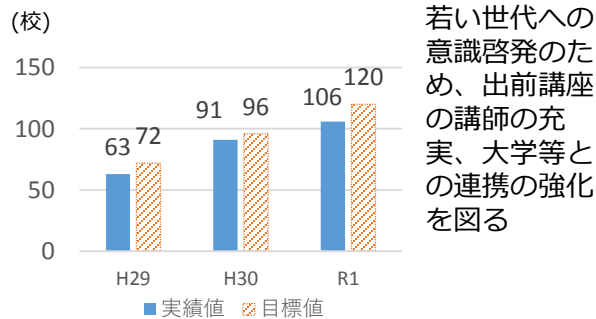
合計特殊出生率（暦年）（施策①②）



未婚化、晩婚化、晩産化の傾向から依然として全国水準を下回り、低い状況

【関連指標】

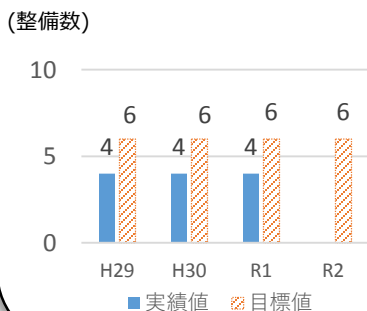
次世代教育のための出前講座実施数（施策①）



若い世代への意識啓発のため、出前講座の講師の充実、大学等との連携の強化を図る

【関連指標】

総合周産期医療センター（指定）の整備（施策②）



周産期医療センターで取扱う分娩数が限られている2つの医療圏において、国の指定要件を満たすことが困難な状況

【ほか3つの関連指標】